

## 「電源構成等の情報開示について」アンケート調査結果報告

全国消費者団体連絡会

## 【結果概要】

1. 5月1日時点で家庭向け電気小売事業を開始している事業者は、117事業者（回答いただいた事業者の80%）。
2. 事業者の供給エリアは、家庭向け電気小売事業を行っている（行う予定の）事業者（133事業者）のうち、東京電力エリアが最多（73事業者）、次が関西電力エリア（40事業者）。最少は沖縄電力エリア（1事業者）。
3. 電源構成等の情報開示を行っている事業者は、76事業者。これは家庭向け電気小売事業を行っている（行う予定の）事業者（133事業者）の57%（去年は23%）。  
一方、情報開示を検討中及び予定なしの事業者は37事業者（28%）（去年は21%）。
  - ・情報開示を行っている媒体は「ホームページ」が大半で、71事業者（96%）。
  - ・「電源構成実績（計画）」と「二酸化炭素排出係数」をともに開示している事業者は、63事業者。これは家庭向け電気小売事業を行っている（行う予定の）事業者（133事業者）の47%。（去年は18%）。
4. 託送料金（相当額）の情報開示を行っている事業者は、39事業者。これは家庭向け電気小売事業を行っている（行う予定の）事業者（133事業者）の29%。
  - ・情報開示の内容は、「請求額中の託送料金額」が23事業者（59%）、「託送料金の料金単価」が19事業者（49%）。
  - ・情報開示を行っている媒体は「請求書あるいは領収書」が多く31事業者（79%）、次に「ホームページ」で13事業者（33%）。
5. 消費者からの問い合わせ項目は、料金（109事業者、82%）、切り替え手続きの方法（48事業者、36%）、変更時期（34事業者、26%）の順に多く、電源構成等は10事業者（8%）。

## 【調査概要】

調査期間：2017年4月25日～6月9日

調査対象：2017年4月1日の時点で電力・ガス取引監視等委員会ホームページの「登録小売電気事業者一覧」に掲載されている事業者のうち、一般家庭向けに電気小売事業をしている（予定している）304事業者。

質問項目：家庭向け小売事業の実施状況、供給エリア、電源構成等の情報開示についての実施（検討）状況及び開示項目。託送料金についての情報開示の状況、消費者からの問い合わせ項目、など。

回答状況：調査用紙はEメールあるいは郵送で送付。

304事業者のうち、147事業者よりご回答をいただきました（回答率48%）

## 【参考資料】

資料1. 「第2回電源構成等の情報開示に関するアンケート」調査票

資料2. アンケートにご回答いただいた事業者一覧

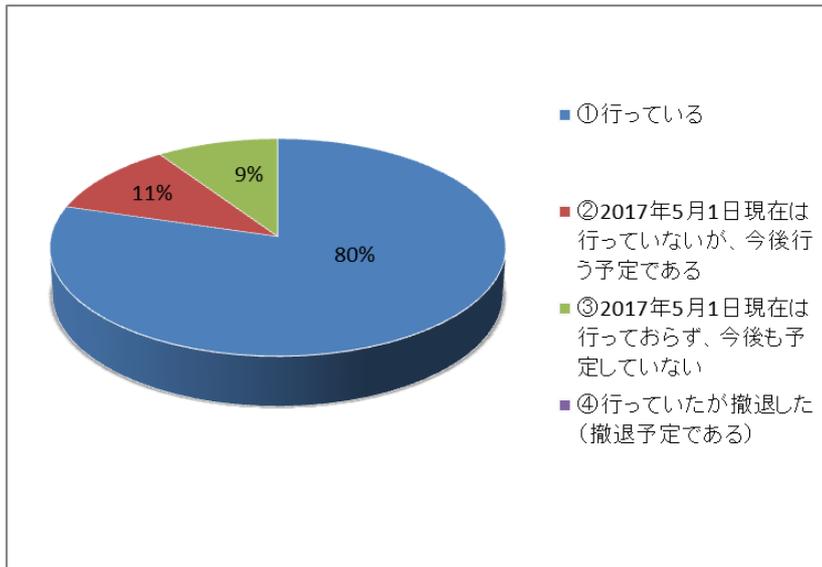
資料3. 家庭向け電気小売り事業を行っている事業者の事業エリア一覧

資料4. エリア別の状況

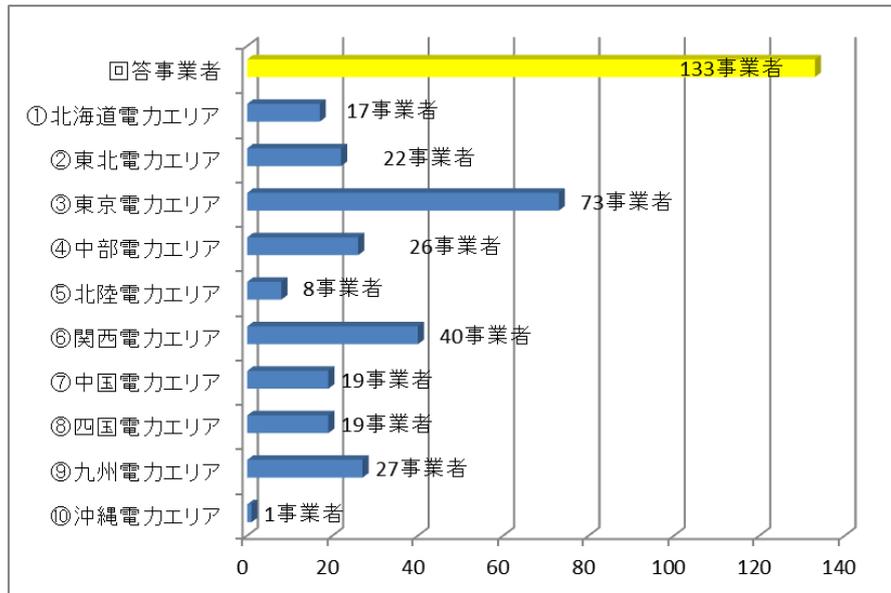
資料5. 電気小売り事業者の電源構成（情報開示資料より作成）

【回答より抜粋】

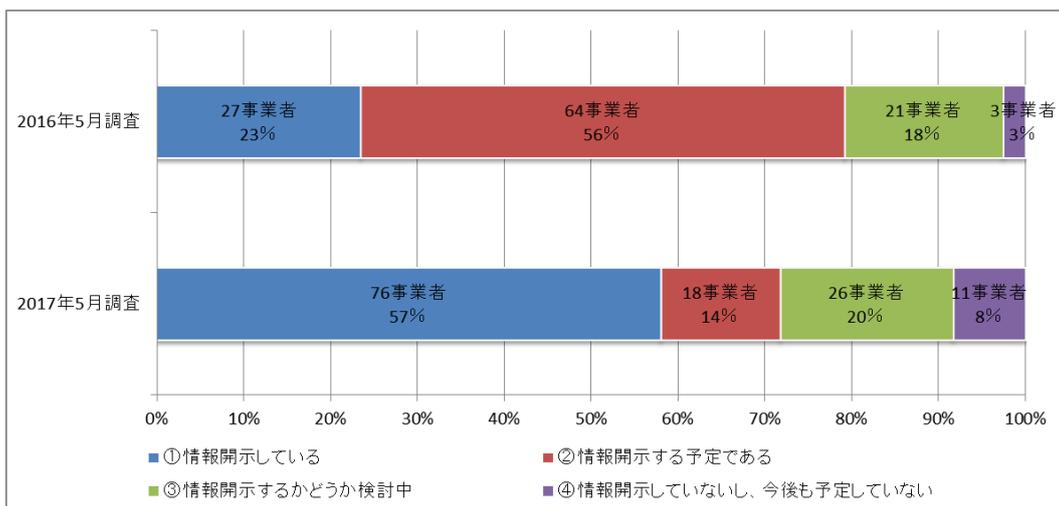
Q 1. 貴社(組織)は、家庭向けの電気小売事業を行っていますか？



Q 2. 貴社(組織)の家庭向け電気小売事業の供給エリアのすべてに○をつけてください。



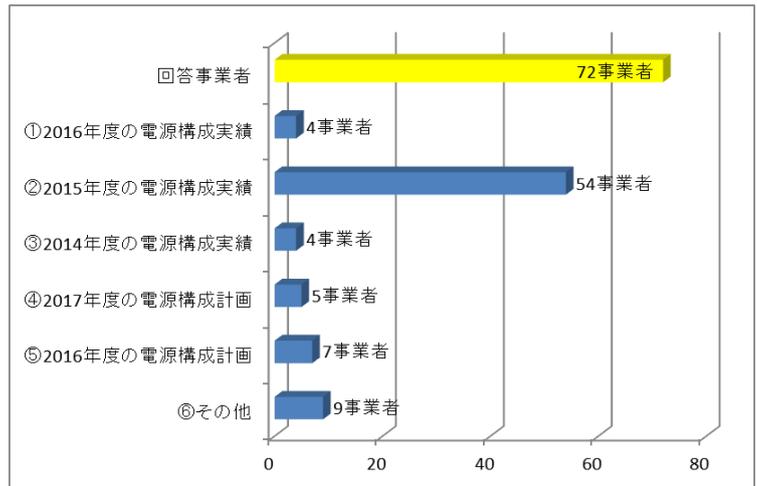
Q 3. 貴社(組織)の電源構成、二酸化炭素排出係数について、消費者向けの情報開示をされていますか？(昨年調査との比較)



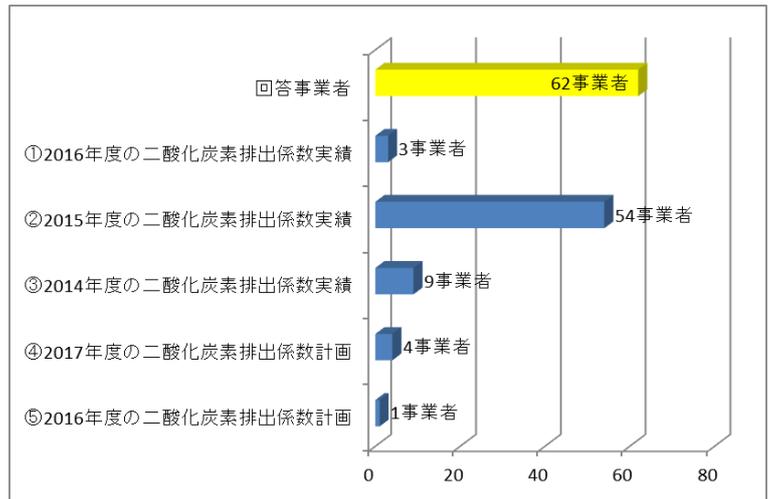
(Q3で①と回答された方について)

SQ3-1-1. 情報開示しているものについて、すべて○をつけてください。

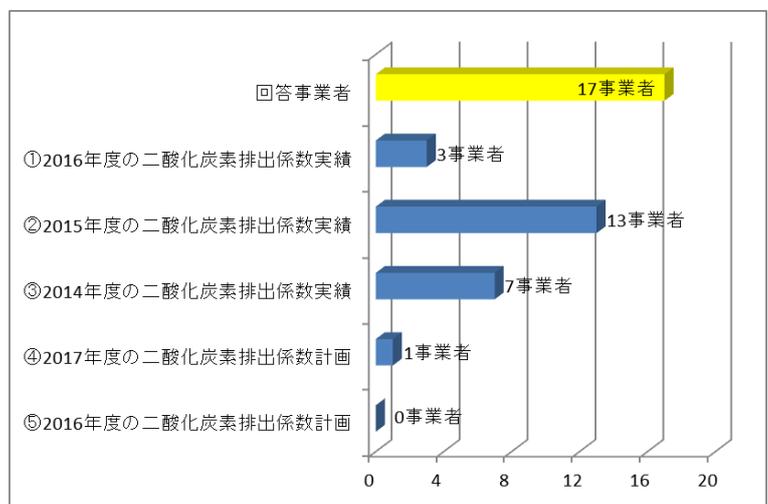
### A 電源構成



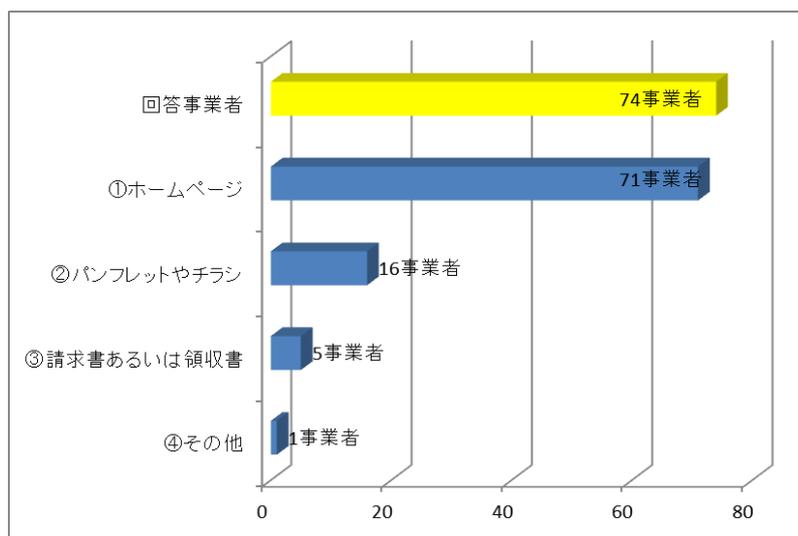
### B 二酸化炭素排出係数（調整後排出係数）



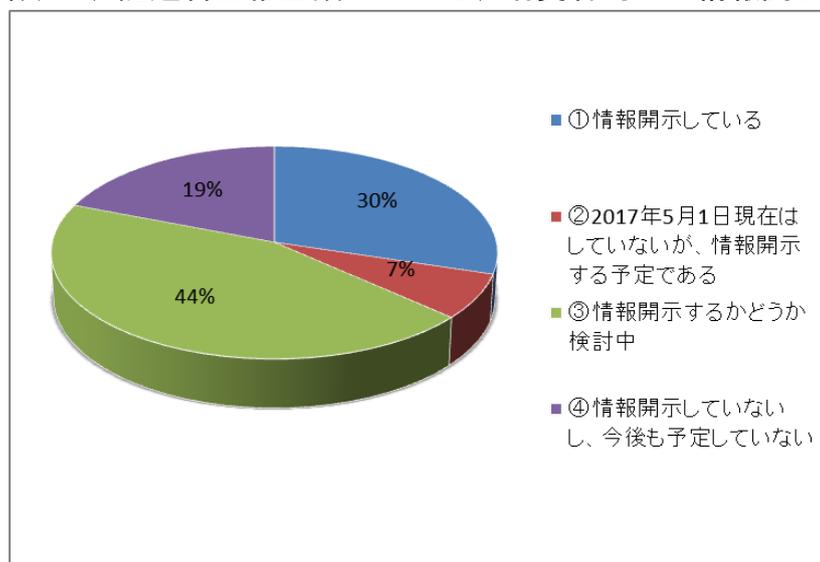
### C 二酸化炭素排出係数（実排出係数）



SQ3-1-2. 情報開示をしている媒体をすべて教えてください。

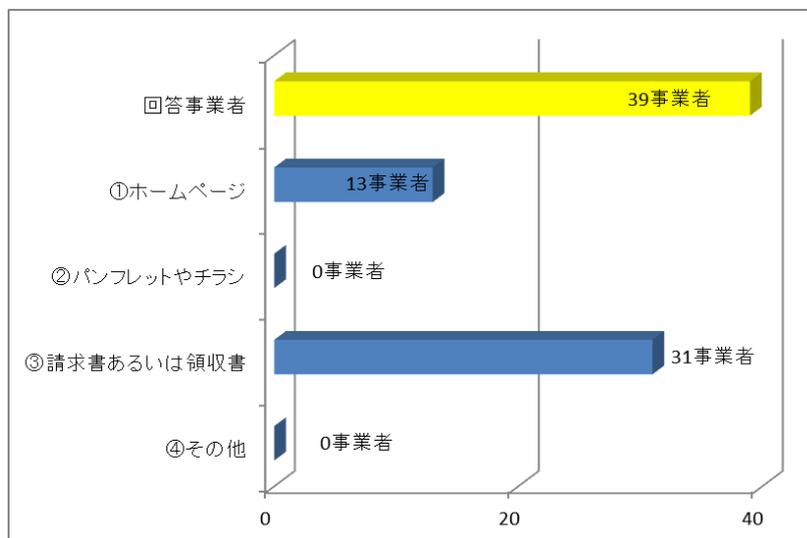


Q4. 貴社(組織)は、託送料金相当額について、消費者向けに情報開示をされていますか？

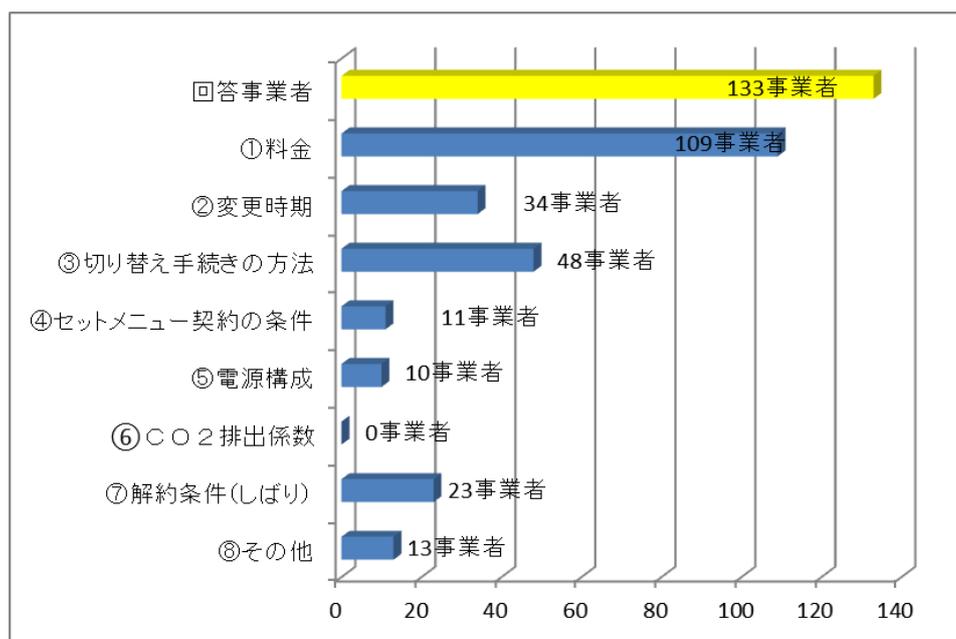


Q4で①と回答された方について

SQ4-1-2. 情報開示をしている媒体をすべて教えてください。



Q 5. 消費者からの問い合わせで多い項目は何ですか。該当する項目すべてに○をしてください。



## 【基礎データ】

### 回答状況

304 事業者中、147 事業者より回答（回答率 48%）。

#### Q 1. 貴社（組織）は、家庭向けの電気小売事業を行っていますか？（147 事業者回答）

①行っている	117 (80%)
②2017年5月1日現在は行っていないが、今後行う予定である	16 (11%)
③2017年5月1日現在は行っておらず、今後も予定していない	14 (9%)
④行っていたが撤退した（撤退予定である）	0 (0%)

#### ②の予定時期

～2017年9月	3
2017年10月～2018年3月	2
2018年4月～	4
未定	2
不明	1

#### Q 2. 貴社（組織）の家庭向け電気小売事業の供給エリアのすべてに○をつけて下さい（予定事業者を含む 133 事業者回答）

①北海道電力エリア	17	⑥関西電力エリア	40
②東北電力エリア	22	⑦中国電力エリア	19
③東京電力エリア	73	⑧四国電力エリア	19
④中部電力エリア	26	⑨九州電力エリア	27
⑤北陸電力エリア	8	⑩沖縄電力エリア	1

#### Q 3. 貴社（組織）の電源構成、二酸化炭素排出係数について、消費者向けの情報開示をされていますか？（133 事業者回答）

①情報開示している	76 (57%)
②2017年5月1日現在はしていないが、情報開示する予定である	18 (14%)
③情報開示するかどうか検討中	26 (20%)
④情報開示していないし、今後も予定していない	11 (8%)
未回答	1 (1%)

#### Q 3 a. 上記のうち、現在事業を行っている 117 事業者の回答を抽出

①情報開示している	73 (62%)
②2017年5月1日現在はしていないが、情報開示する予定である	12 (10%)
③情報開示するかどうか検討中	22 (19%)
④情報開示していないし、今後も予定していない	9 (8%)

#### Q 3 b. 上記のうち、今後事業を行う予定の 16 事業者の回答を抽出（未回答 1 事業者あり）

①情報開示している	3 (20%)
②2016年4月25日現在はしていないが、情報開示する予定である	6 (40%)
③情報開示するかどうか検討中	4 (27%)
④情報開示していないし、今後も予定していない	2 (13%)

**S Q 3 - 1 - 1 A. 電源構成の開示情報 (72 事業者回答、1 事業者・構成未開示)**

①2016 年度の電源構成実績	4 ( 6%)
②2015 年度の電源構成実績	54 (75%)
③2014 年度の電源構成実績	4 ( 6%)
④2017 年度の電源構成計画	5 ( 7%)
⑤2016 年度の電源構成計画	7 (10%)
⑥その他	9 (13%)

**S Q 3 - 1 - 1 B. 二酸化炭素排出係数 (調整後排出係数の開示情報 (62 事業者回答))**

①2016 年度の二酸化炭素排出係数実績	3 ( 5%)
②2015 年度の二酸化炭素排出係数実績	54 (87%)
③2014 年度の二酸化炭素排出係数実績	9 (15%)
④2017 年度の二酸化炭素排出係数計画	4 ( 6%)
⑤2016 年度の二酸化炭素排出係数計画	1 ( 2%)

**S Q 3 - 1 - 1 C. 二酸化炭素排出係数 (実排出係数) の開示情報 (17 事業者回答)**

①2016 年度の二酸化炭素排出係数実績	3 (18%)
②2015 年度の二酸化炭素排出係数実績	13 (76%)
③2014 年度の二酸化炭素排出係数実績	7 (41%)
④2017 年度の二酸化炭素排出係数計画	1 ( 6%)
⑤2016 年度の二酸化炭素排出係数計画	0 ( 0%)

**S Q 3 - 1 - 2. 電源構成、二酸化炭素排出係数の開示媒体 (74 事業者回答)**

①ホームページ	71 (96%)
②パンフレットやチラシ	16 (22%)
③請求書あるいは領収書	5 ( 7%)
④その他	1 ( 1%)

**S Q 3 - 1 - 3. 情報開示に際し工夫されている点をお教えてください。(自由記述)**

- ・円グラフで表示をしている
- ・各電力エリアごと、月単位、円グラフで表示している
- ・円グラフを用いて、CO<sub>2</sub>排出量が多い「火力発電」を赤で一括表示するなど、消費者に分かりやすい表示方法を工夫している。
- ・円グラフで表示している。また、2014年度以前の情報もホームページに掲載している。
- ・紙の検針票など、紙媒体においても一定の大きさを確保したうえで、カラー印刷として、円グラフでビジュアルで把握できるようにしています。これらは申し上げるまでもなく、一定の大きなコストがかかるものです。

SQ3-2. (Q3で②と回答された方について)

情報開示予定の時期と媒体、項目を教えてください。(複数回答、Q3で③と回答された方でこちらを回答された方あり、未回答あり)

情報開示予定時期	
～2017年9月	8
2017年10月 ～2018年3月	1
2018年4月～	3
2018年(月未定)	1
未定	9
未回答	1

情報開示予定媒体	
①ホームページ	21
②パンフレットやチラシ	5
③請求書あるいは領収書	2
④その他	1

情報開示予定項目	
電源構成	20
二酸化炭素排出係数(調整後)	10
二酸化炭素排出係数(実排出)	8

(Q3で③、④と回答された方について)

SQ3-3 情報開示されない理由について教えてください。(自由記述)

- ・ JEPX から電源調達が決まったため
- ・ 関西の複数の電力会社にてバランシンググループを形成しており、電源等の共有を行っており、開示に向けてどのような配分・算出を行うかがグループで未決定のため
- ・ 現在、二酸化炭素排出係数の実績値の計算ができていないため
- ・ 昨年度の供給実績がないため、翌年度以降に開示を検討中
- ・ 1年間の実績ではないため公表はしていません。需要家様より個別にお問い合わせをいただいた際には、温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の Web サイトをご案内しております。
- ・ 現状、問い合わせをいただいた場合には、回答しています。
- ・ 常時バックアップや卸電力取引所からの調達が多いことや、今後の電源調達計画の変動により電源構成が流動的なため。
- ・ 現在「取次」にて扱いのため、供給業者の意思に沿いたいと考えます(小売電気事業者として販売していない)
- ・ 自社で発電事業を行っていないため(公表が義務化された場合は、委託先の係数を公表予定)
- ・ 現構成比はほぼ JEPX での仕入れのため、JEPX の構成となり特色はなく、またバランシンググループでの検討項目です。また二酸化炭素排出係数において常時提示してはならず、自治体などからの要望が必要な際のみ提出している。電源構成、二酸化炭素排出係数ともに新電力の仕入れとしてはほぼ JEPX のため、特色のない数値になる。また需要家ニーズも現状全く感じない(今までの問い合わせ数がゼロ)のため、必要性を今のところ感じていない。これらはあくまでも大手新電力では特色が出るとは思いますが、小規模新電力は仕入れ先の限定やバランシンググループ等での検討になると思われます。

Q 4. 貴社（組織）は託送料金相当額について、消費者向けに情報開示をされていますか（133 事業者回答、未回答 1 事業者あり）

①情報開示している	39 (29%)
②2017年5月1日現在はしていないが、情報開示する予定である	9 (7%)
③情報開示するかどうか検討中	58 (44%)
④情報開示していないし、今後も予定していない	25 (19%)
未回答	2 (1%)

Q 4 で①と回答された方について

S Q 4 - 1 - 1. (託送料金相当額で) 情報開示している内容についてすべて○をつけて下さい (39 事業者回答)

①請求額中の託送料金額	23 (59%)
②託送料金の料金単価	19 (49%)

S Q 4 - 1 - 2. (託送料金相当額の) 情報開示をしている媒体をすべて教えてください (39 事業者回答)

①ホームページ	13 (33%)
②パンフレットやチラシ	0 (0%)
③請求書あるいは領収書	31 (79%)
④その他	0 (0%)

Q 4 で②と回答された方について

S Q 4 - 2. 情報開示予定と時期と媒体、内容を教えてください

情報開示予定時期	
～2017年9月	4
2017年10月～2018年3月	3
2018年4月～	1
2018年2月以後	1
未定	6
2017年	1
2017年8月以後	1

情報開示予定媒体	
①ホームページ	3
②パンフレットやチラシ	2
③請求書あるいは領収書	13
④その他	1

情報開示予定項目	
請求額中の託送料金額	8
託送料金中の料金単価	4

#### Q4で③④と回答された方について

##### SQ4-3. 情報開示されない理由について教えてください（自由記述）

- ・託送供給料金相当支払額や料金単価・概算額を明記するためには大規模システム改修が必要であり、実現可能性（是非・時期・方法・コスト）を検討中である。
- ・託送料金を明示できるようにするためにはシステム改修費用が嵩む。手作業で行う場合、手間とヒューマンエラーの問題が課題となる。そこに費用をかけるのであれば、そのコストを需要家に還元した方が得策。
- ・どのように開示すべきかを調整検討中のため
- ・バランスンググループ間で調達している電気の手数料に託送料が含まれており、託送料のみはわからない

##### Q5. 消費者からの問い合わせで多い項目は何ですか（133事業者回答）

①料金	109 (82%)
②変更時期	34 (26%)
③切り替え手続きの方法	48 (36%)
④セットメニュー契約の条件	11 (8%)
⑤電源構成	10 (8%)
⑥CO <sub>2</sub> 排出係数	0 (0%)
⑦解約条件（しぼり）	23 (17%)
⑧その他	13 (10%)

##### Q6. 家庭向け小売りメニューで特徴的なメニューがありましたらご紹介ください。

- ・セット販売、セット割（ガソリン、LPガス、都市ガス、宅配水、灯油、放送・通信）
- ・時間帯別料金メニュー（ホームプラン）
- ・ポイント付与、マイル付与、電子マネーのキャッシュバック
- ・家庭用コージェネレーションシステム、ヒートポンプ、夜間蓄熱型機器を設置する顧客向けプラン
- ・知人同士の加入による割引
- ・電気料金の一部で森林保護活動を支援するプラン
- ・一般電気事業者の規制料金メニュー比較の割引プラン
- ・消費者から「発電産地応援金」をお預かりする料金プラン（オプションではなく、料金の一部）（旧一般電気事業者よりも「高い」料金としています）。なお、様々な手続き等に別料金が発生する（例えば、紙の検針票発行は有料）ことが多いのに対して、弊社では電気料金以外の手数料は一切発生しません。価格の比較においては、このような細部も配慮されることを希望します。
- ・Webによる料金お知らせサービスへの加入を条件に、毎月の電気料金を割り引きするメニュー
- ・ご使用量の多いお客様を対象としたプラン
- ・電気の困りごとに駆け付けるサービス
- ・生活の安心サポートサービス
- ・原発フリー（原発由来でない電源）の電気をめざしている。
- ・再エネ共同基金に電気代の1%を寄付するプラン